

災害への備えは みんなで取り組む

導する形から防災士が主導する形へ変わってきています。

また、被災時には避難所運営などで女性の視点を生かすために女性防災士の養成に力を入れています。大分県内の市町村では最多となる79名の女性防災士が活躍しています。

1月23日には女性防災士約50名が参加して、避難所を運営するうえで大きな課題となるトイレ問題をテーマに研修を行いました。当日は段ボールを使ったトイレ作りにも取り組みました。

さらに、避難所運営も住民が中心となっていくことを前提に、避難所運営マニュアルの作成が進んでいます。

白杵市では、避難を確実にするため、白杵公園の避難路の整備、各地区における避難路整備の原材料支給などに取り組んできました。また、白杵公園や白杵市総合運動公園(諏訪山)など、高台の主要となる場所への防災倉庫の整備、主食となるアルファ米や水などの備蓄も進めています。今後は、主食をはじめ、女性の視点を生かした生活用品などの備蓄も進めていきます。

問合せ先 コミュニティ防災課
(内2131・白杵庁舎)



①神崎地区の防災訓練
②目明地区の夜間防災訓練
③佐志生地区の総合防災訓練
④塩入・緑区の早朝防災訓練
⑤女性防災士の研修
⑥避難所マニュアル研修の参加者
⑦下ノ江地区の防災訓練



主な備蓄箇所の災害用備蓄品の備蓄状況(2月末時点)

| |
|--|
| 白杵公園防災倉庫 |
| アルファ米 6,000食、保存飲料水(2L) 900本、炊出し用釜 11個、スペースブランケット 2,000枚 など |
| 防災拠点施設(白杵市消防本部) |
| アルファ米 3,600食、保存飲料水(2L) 1,440本、リヤカー 9台、間仕切り 124枚 など |
| 白杵市総合運動公園(諏訪山)防災倉庫 |
| アルファ米 1,500食、保存飲料水(2L) 840本、毛布 580枚 など |
| 白杵市役所野津庁舎 |
| アルファ米 1,500食、保存飲料水 240本 など |



白杵市総合運動公園(諏訪山)防災倉庫



白杵公園防災倉庫

白杵市防災講演会2014 ~あの日を忘れない~ 入場無料

うすき女性防災士連絡協議会と協力して防災講演会を開催します。女性として、母として、また生活者の視点で家庭を守る防災対策について語ります。防災について、一緒に考えてみませんか。

とき **3月2日(日) 13:30~15:00**

ところ **白杵市民会館大ホール**

演題 「家族や地域の防災対策
~自分を・大切な人を守るために~」

講師 **国崎 信江氏(危機管理アドバイザー)**



※入場者には5年保存水(500ml)をプレゼント



問合せ先 コミュニティ防災課(内2131・白杵庁舎)

3月11日。東日本を襲った大地震と大津波。あの大規模災害から3年がたとうとしています。

地震や津波以外にも、台風や集中豪雨、大雪などにより洪水や土砂災害、雪崩などが発生しています。

わたしたちの暮らしは自然の恩恵のもとに成り立っています。

しかし、その自然は時として猛威を振ります。

自然と隣り合わせで暮らしていることをわたしたちは決して忘れてはいけません。

白杵市では、地域を守る防災リーダー(防災士)の養成に取り組んでいます。人口当たりの防災士としては全国一の444名が登録しています。

地域における防災訓練では、行政が指

臼杵市観光振興戦略プランの提言にあたって

わたしたちは、1年をかけてさまざまな業種のメンバーとともに議論を重ねて参りました。そのなかで、住民視点とお客様視点のバランスを踏まえ、観光に関わる団体や事業者だけでなく、毎日の生活のなかでお客様に接する機会がある市民も「臼杵らしいおもてなしの心」で、お客様を温かく優しく迎える環境を作ることが大切だと思っており、そのために「個」を磨き、お互いが連携を深め、共生関係を築いていくことで、お客様目線にたったサービスを提供することができると考えました。

「臼杵らしいおもてなし」をキーワードに、臼杵では“光を観る”「観光地」だけでなく、より多くの光をより多くの時間・場所で感じていただき、元気になってエネルギーを蓄え帰っていただける、“光を感じる”「感光地」を目指して参ります。そういう思いでこの戦略プランを臼杵市長に提言しました。



臼杵市観光振興戦略会議 委員長 安野 祐二さん

観光戦略キャラクター

愛称募集

臼杵市観光振興戦略会議で提言された観光戦略のイメージキャラクターの愛称を募集します。



国宝臼杵石仏をモチーフにしたキャラクターが六ヶ所地獄温泉などの温泉に入っているイラストです。

- 募集期間 3月1日(土)～21日(金)(消印有効)
 - 募集条件 1人につき1点、自作で未発表のもの(応募作品の一切の権利は臼杵市に帰属します)
 - 応募方法 キャラクター名、愛称の理由、住所、氏名、電話番号を記入し、はがきまたはEメールで産業観光課(〒875-8501 臼杵市大字臼杵72番1 Eメールkankou@city.usuki.oita.jp)へ申し込んでください。
 - 賞品 採用された方には、キャラクターグッズとふぐのフルコース(2名1組)を贈呈します。
- 問合せ先 産業観光課(内1264・臼杵庁舎)

基本理念

- おいしいがあふれる
- もう一度と思わせる
- ていねいな接客のできる
- なつかしい匂いがする
- しんせつな情報を発信する

観光地から 感光地へ

臼杵市観光振興戦略プラン

臼杵市の活力ある観光地づくりを推進するために立ち上げた「臼杵市観光振興戦略会議」から「臼杵市観光振興戦略プラン」の提言を受けました。臼杵市では、基本理念と5つの重点戦略からなる観光振興戦略プランに基づき、市民をあげて各種事業への取り組みを予定しています。



目指す姿

市民一人ひとりが、おもてなしの「心」を磨き、おもてなしの「心」をつなぎ、お客様をお迎えします。

重点戦略 1

「臼杵らしいおもてなしの心」を育てる
 ・おもてなし研修を実施
 ・臼杵市観光交流センターなどの「おもてなしの環境」づくり

重点戦略 2

情報発信力の強化
 ・四季折々のイベント情報「四季めぐり」の発信
 ・海外戦略や広告事業の強化

重点戦略 3

体験交流による滞在型観光の推進
 ・春夏秋冬のイベントの継続的実施
 ・グリーンツーリズムとの連携強化

重点戦略 4

地域資源の魅力向上
 ・既存の観光資源の魅力向上と新たな資源磨きを実施
 ・既存の観光施設の再生事業

重点戦略 5

広域観光交流の推進
 ・県南地域の連携協議による「井街道」などの実施
 ・臼杵にゆかりのある都市との連携事業を実施

臼杵市観光振興戦略プランのキャッチコピーは、「臼杵で充電中。」です。

光を観る「観光地」から、より多くの光をより多くの時間、体で感じてもらう「感光地」を目指しています。おもてなしの基本理念のもと、5つの重点戦略に市民、企業、行政が一体となって臼杵市の観光振興の取り組みを進めていきます。

※詳しくは、臼杵市ホームページをご覧ください。

問合せ先 臼杵市観光戦略会議事務局

(産業観光課内) 内1264・臼杵庁舎